

地球温暖化防止部会2017年度活動報告

定例会合は毎月第3土曜日 14:00~16:00 イルミン(活動センター)

代表 本多進

1. エコライフデー

- ・用紙「エコライフデー2017夏と2017冬チェックシートを埼玉県より無料で入手
- ・協力していただいた方々 入間ガス、ダイハウス工業、JAいるま野、環境アドバイザー、入間市環境まちづくり協議会員など。
- ・実施は2017年7月~9月、2017年12月~2018年2月の2回、回収方法は直接受付と郵送
- ・参加者は前年度より少し増加 夏 1176名 冬 1057名 計 2233名、目標 2000名を達成
- ・CO2削減は 夏は 1189Kg 冬は 1211Kg 計 2400Kgであった。

2. ダイエットコンクール実施

「エコライフデー2017夏と2017年冬」のチェックシートを利用し、電力会社の領収書にて電力の削減率上位10名と一人当たりの消費電力の低い順10名計20名に記念品(¥1000のギフト券)を送呈

3. 見学会:

(1) 2017年5月24日(水) 本田技研寄居工場・埼玉環境整備センター見学 一般募集

- ・36名参加、大型バス利用、参加費¥3000
- ・埼玉環境整備センター(サイサンメガソーラー)
ごみを埋め立てた場所の上にソーラーパネルを設置、発電出力は2621kw、建設費は9億円、
- ・埼玉環境整備センター(環境サービス)
廃プラスチックを中心としたマテリアルリサイクル及びRPF(固形燃料 Refuse Paper & Plastic Fuel)の製造を行っている。廃プラスチック処理施設(処理量 50t/日)である。
- ・本田技研寄居工場 2013年に稼働し始めた最新鋭の工場、沢山のロボットが次々と車の車体を溶接して製造して行くのに驚いていた人が多かった。



1万6000枚のソーラーパネル



搬入されたプラスチックごみ

(2) 2017年9月11日(月) 奥井組見学(入間市) 部会関係者のみ

- ・16名参加、ロケットの筐体輸送、断熱塗装、水耕栽培など多彩な事業の説明に関心

(3) 2017年11月6日(月) 首都圏外郭放水路とキッコーマン醤油野田工場見学(野田市) 一般募集

- ・45名参加、大型バス利用、参加費¥3000 申込みはハガキによる。定員オーバーだったため抽選
- ・キッコーマン醤油は身近な醤油の製造工程を詳しく知ることが出来た。
- ・首都圏外郭放水路は地下調圧水槽を見学、さながら地下宮殿の様子にびっくりしている人が多かった。

4. 第6回いるま環境フェア: 2017年10月1日(日) 産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 160名の参加があった。
- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

5. 第23回生涯学習フェスティバル: 2017年12月3日(日) 産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 150名の参加があった。
- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

6. ミニ環境講座 メンバー自身が調べてきた内容を紹介、テーマ、時間は自由、今年度は以下の講座があった。

- ①食べるお茶
- ②ごみからCO2利用
- ③食品保存につて
- ④モーゼスプロジェクト
- ⑤食品ロス
- ⑥たまごの常識
- ⑦ライメックス
- ⑧電子マネーのミライ
- ⑨ウルトラファインバブル
- ⑩ポーラスα
- ⑪深海探査船
- ⑫橋本増次郎
- ⑬中国の再生可能エネルギー
- ⑭中国の今
- ⑮下水道の老朽化対策
- ⑯中国のEV
- ⑰台湾の電動バイク

以上